

市民の声を聞く市政への転換を

市長を替えて住民が主人公のまちづくり

ニュース 区役所移転・鷺沼再開発を考える

市古さん応援の取り組みを確認

現区役所を存続し、鷺沼駅前再開発を考える会（宮前区を考える会）は9月17日、市民館視聴覚室で、川崎市長選に川崎民主市政をつくる会から立候補する市古ひろかずさんをゲストに、区役所移転・鷺沼駅前再開発問題について意見交換・懇談しました。会からは15人が参加、現区役所の存続と2つの図書館・市民館の実現、タワマンシヨンの低層化など鷺沼駅前再開発見直しにつ

いての思いをそれぞれが発言、市長選挙でこの問題を争点として大きく取り上げていく重要性を訴えました。

市古さんは、メモをとりながら、会のメンバーの意見に熱心に耳を傾けながら、「鷺沼再開発については、区役所や市民館、図書館がつくられるので賛成する方もいらっしゃるのでは？」と率直な疑問も提起しました。これにたいして、「市民館や図書館は、もともと

数が不足しているのだから、現在の市民館、図書館を残した上で、鷺沼につくればいい」「タワマン建設によって、風害の危険が広がり、交通渋滞も甚だしくなる。そうし

た問題がまだ住民に知らされていない。問題点が明らかになれば、賛成していた人も必ず変化する」などの意見が出され、市古さんも「問題点がよくわかった」この問題を市長選挙で大きく取り上げていくと約束しました。

その具体策として、市古さんから①区役所移転

と鷺沼再開発の問題点を明らかにしたチラシ4万枚を作成する。②宮前区内の宣伝では、区役所移転・鷺沼再開発問題のイラストを作成し、宣伝

するようになると提案がありました。会として、これを了承、市長選の取り組みについて別表のような活動をおこなうことを確認しました。

鷺沼考える会がミニ集会

ゲストに市古さんを迎えて意見交換

鷺沼駅前再開発を考える会は、10月2日午後2時から、アリーノ第1・第2学習室で、市古さんをお招き、ミニ集会「こ

市古さんと合意した市長選の取り組み

- 宮前区を考える会は、市長選で市古さんを応援するために次の取り組みを進めることを確認しました。
- ①市古さんの政策チラシを自分の近所に配布する。
 - ②市古さん支持を口コミ、SNSなど広げる。
 - ③「市古さん応援」ミニ集会を開催する。
 - ④市古さんがおこなう駅頭、街頭での演説会に参加する。

10月4日公示、24日投票の予定でおこなわれる川崎市長選挙は、宮前区民にとって、住民の声を聞く市政か、それとも住民の声を無視する市政を選択するのかが問われる選挙になっています。

宮前区を考える会が7月27日に出した区役所移転・鷺沼再開発についての公開質問状（①区役所移転、鷺沼駅前再開発について住民多数の声を聞いて見直す意思があるかどうか、②東急の計画見直し後に住民説明会を開く意思があるかどうかについて質問）にたいして、福田市長は回答をせず、会は再度公開質問状を福田市長の後援会に送付しましたが、それでも無視したままです。福田市長は、自分と異なる住民の声にはまったく耳を貸そうとはしません。そうした人に川崎市政を任せることはできません。

川崎市長選の最大の争点

市民の声を聞くのか、無視するのか

民主市政をつくる会の市長選立候補予定の市古さんは、会の公開質問状に住民の意見を聞く説明会を開催すると明言。あわせて、「宮前区を考える会」がだした要望書の実現に、互いに誠実に協力、努力することを約束しました。

要望書の内容は以下の通りです。

- 1、鷺沼駅前再開発事業に関して、宮前区全住民対象に住民説明会を実施する。
- 2、現宮前区役所・図書館・市民館を存続させ、鷺沼駅前に図書館・市民館・区役所支所を新設する。
- 3、鷺沼駅前再開発・タワマン事業は、タワマンの低中層化を目指すと共に、交通渋滞をなくし、緑とゆとりある計画に見直す。
- 4、向丘出張所の機能の充実。野川、菅生地域にアリーノ（有馬地域）のような市民館・図書館・区役所窓口機能を持つ施設をつくる。
- 5、震災・災害対策は、現宮前区役所を中心とする体制を維持する。

宮前区を考える会は、市長選では私たち住民の声に耳を傾ける市古さんを応援することを確認しました。それは市民の声を無視する市政ではなく、市民の声を聞く市政こそ、区役所移転・鷺沼駅前再開発問題を解決するために必要な市政と考えたからです。

N03
2021年9月27日発行
現区役所を存続し、鷺沼駅前再開発を考える会
発行責任者 猪俣博
☎080-6758-4252
〔部内資料〕